

# キーパーソン

30



### コスギ不動産 小杉康之社長

## 土地の表情読み 開発に着手

九州新幹線が全線開業した今年、熊本県内で3つの大きなプロジェクトに取り組んでいます。熊本駅前交差点周辺の再開発、熊本市中心部でのテナントビル建設、そして菊陽町での宅地分譲です。

全線開業で福岡が身近な通勤圏になったため、熊本近郊に居を構え、福岡まで通うサラリーマンが増えるでしょう。菊陽町の分譲は、そうした方だけを意識したものではありませんが、熊本内外か

ら関心を持ってもらえるよう、健康づくりや環境に配慮した「次世代型」の住宅地を目指しています。

◆敷地に「顔」あり

30年も不動産業に携わっていると、土地と話ができるようになり

ます。土地にはそれぞれ「顔」があります。通勤時間帯は渋滞で騒々しくなる場所でも、夜には静かに星空を眺めることができる場合もあります。実際にその場所に立ち、どのような利用の仕方がベストなのか、土地の「表情」を読むのです。

◆高齢化時代の使命

少子高齢化の時代に入り、今後は一般のパートやマンションを高齢者用に転換しなくてはならないと考えています。そのためには介護の必要な高齢者を実際にお世

菊陽町で開発中の宅地は、以前話できるようになると、グループは大きな陸上グラウンドでした。プールの運営も始めました。地域の方々が運動や散歩を楽しめる場所でもあったのです。約6万6千平方メートルの敷地には179区画の宅地分譲地や商業施設、医療施設、幼稚園などを備えるほか、周囲、不動産を有効活用させていくことが、今後変わることはない。整備し、地域のみなさんの健康づくりに役立ててもらおう予定です。

建築作業員や配送会社での勤務を経験した小杉社長が昭和57年に熊本市で創業。熊本県内に6つの支店を展開し、指定管理者制度による公営施設の管理・徹底している。

運営も手掛ける。来客や電話の際に担当者がいちも対応できるように社内会議は営業時間外に行い、「お客さまの立場で考えること」を